

各クラスで研究授業！研究授業を行うことが、子どもの力を向上させます。その2

【1年生研究授業「サラダでげんき」】

1年生の教室でも研究授業がありました。物語文「サラダでげんき」です。

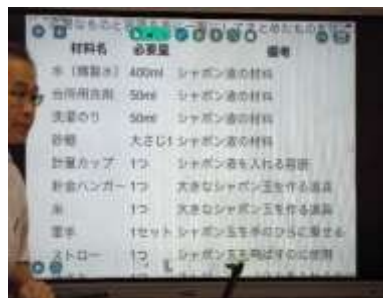
主人公のりっちゃんは、病気になったお母さんのために、サラダを作りはじめました。そこへ動物たちが次々にあらわれて、サラダ作りのアドバイスをします。さあ、どんなサラダができあがるのでしょうか？原作は角野英子さん。「魔女の宅急便」が有名ですね。

校長先生は、研究授業の前から、この授業を毎時間少しずつ参観していました。1年生の子どもたちは、次々と表れる動物のアドバイスの中にある「やさしさ」を感じ取り、読み取っていきます。1年生の子どもたち自身のやさしさ、感受性の高さ鋭さが、授業の中で共有されていきました。

担任の大田先生の授業力も素晴らしい！！子どもたちの発言やつぶやきをしっかりととらえて、子どもたちが考える授業、子どもたちが学びとる授業に高めていきました。多くの先生方に囲まれながらも（笑）、いつもと同じように挙手をし、発言する子どもたち。頼もしくさえ感じました。

私は、この物語の根底にあるものは、相手への「なにかできないか？」「こうすればよいのでは？」という「やさしい気持ち」だと思っています。その「やさしさ」を読み解く子どもたちの姿に感心した校長先生なのでした。

【6年生研究授業 算数「比とその利用」】



6年生になりますと、算数の授業も結構、難しくなるものです。そして、実際に日常生活の中でもよく使われる、数学的な考え方を学ぶことが多くなってきます。例えば「割合」です。%や●割引などの言葉は日常でもよく使われます。

生活に根差した「学び」と言えるでしょう。6年生の研究授業で行われたのは「比」の学習でした。これも日常生活でよく使われますよね。○：△よく見る数式です。お料理にもよく使われます。ドレッシングでは酢と油を2：3というような使い方ですね。

福嶋先生は、この学習を子どもたちの生活からかけ離れたものにならないように、あることを子どもたちに提案しました。さすが、プロの教師です。何だと思いませんか？それは、「シャボン玉をつくらう」ということでした。しかし、ただのシャボン玉ではありません。「最強のシャボン玉」をつくるためには、洗剤との比率をどのようにしたらよいのだろうという提案です。6年生は、このミッションに対して、算数での学びをいかして、意欲的にチャレンジしていくことになるのです。

学びというのは、素晴らしいですね。（校長）※裏面は虫眼鏡です。

校長先生の虫眼鏡 「カブトムシの幼虫 成長中」



なかよし1組を訪問した時の様子です。夏まで学級で育てていたカブトムシが産んだ卵が孵化し、こんなに大きな幼虫になりました。なかよし1組だけで、6匹います。各学年で卵が産まれましたので、今、50匹ぐらいいるのではないかと推測されています(笑)

大きくなれよー！

